

令和8年度

学 級 要 覧

墨田区立第二寺島小学校

くすのき学級

〒131-0032 東京都墨田区東向島4-30-2

TEL(学校) 03-3614-0105~6

(学級) 03-3614-3465

FAX 03-3614-0320

I 学級の概要

1. 学校名 墨田区立第二寺島小学校
2. 学級名 くすのき学級(知的障害・固定学級)
3. 沿革概要 昭和28年5月1日 くすのき学級 開設
4. 学級運営組織 学校長、副校長、担任、講師、介助員

5. 学級編成

学年	児童数			組	担任	講師・介助
	男子	女子	合計			
1年	1	1	2	1組 男子 2名 女子 3名 合計 5名	担任 3名	〈講師〉 図工(週4時間) 音楽(週2時間)
2年	1	0	1	2組 男子 5名 女子 1名 合計 6名		
3年	2	1	3			
4年	3	1	4	3組 男子 5名 女子 1名 合計 6名	副担任 1名	〈介助員〉 1名(週4日) 3名(週5日)
5年	4	2	6			
6年	1	0	1			
合計	12	5	17	3学級	4担任	

令和8年4月現在

Ⅱ 教育目標

1. 学校の教育目標

- よく考えて 工夫する子
- ◎思いやりがあり 助け合う子
- 体力のある 元気な子
- ねばり強く やりぬく子

2. くすのき学級の目標

「チャレンジ！」

- 学年や発達段階、習熟度など、さまざまな観点から多様な集団活動の機会を設け、集団行動の力の伸長に努めます。
- 通常級の児童との交流から社会性や豊かな人間関係を育んでいきます。
- 個に応じた指導計画を作成し、指導のねらいを明確にした授業で一人一人の能力の伸長に努めます。
- 体育的活動を充実し、健康と体力の増進に努めます。
- 一人一人の実態に応じた指導により多くの達成感、充実感を味わえるよう努めます。

3. 目標達成のための方策

- ・ 友達と仲良く協力しながら、何事にも臆せずに様々な事に挑戦していく児童の姿を目指し、個の実態におけるニーズに応じた支援、指導を行う。
- ・ 児童の頑張りや長所を認め、自己肯定感や自信をもたせることにより、新たな学習や活動に対して積極的に取り組めるよう援助していく。

Ⅲ 時間割表

	月	火	水	木	金
1	日常	日常	日常	日常	生活单元
					図工2
2	国語／算数	国語／算数	体育 (校庭) (ローラーブレード)	図書 (国語)	国語
					図工2
3	体育 (体育館)	生活单元	国語／算数	体育 (体育館)	図工1
					外国語活動
4	国語／算数	生活单元	特別の教科 道徳	国語／算数	図工1
					国語
給食／昼休み／清掃(水・金曜日)					
5	学級活動	音楽 (体育館)	クラブ・委員会 (生活单元)	音楽	日常
6	総合 (4～6年)	生活单元 (2～6年)		国語／総合 (3～6年)	国語 (3～6年)

IV 授業の形態と内容予定

授業名	形態	授業数	内容
日常生活の指導	一斉 クラスごと	4	着替え、手洗い、あいさつ、授業の準備、排泄など。朝の会・・・健康観察、今日の予定を知る、スピーチ、持ち物調べ、読み聞かせ、体力作り、連絡帳記入など
国語	児童の実態に応じて小グループに分け、決め細かな指導を行う。	5～7	聞くこと、話すことを中心に、読み・書きの定着を図るために、動作を含めた様々な方法で他とのコミュニケーションがとれるよう指導していく。また、学年に応じて、語彙を増やすような学習を進める 習熟度別学習を実施する
算数		4	基礎基本を大切にしながら、日常生活に必要な数量概念や時刻や時間が理解できるように指導する 習熟度別学習を実施する
生活单元	一斉	3～4	各行事に向けて準備、練習をする 畑に野菜の種や苗を植えて育てて収穫する。調理実習に向けて計画、実施する
	主に低学年		生活科：具体的な活動や体験を通して、人や社会、自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考える
	主に3年生以上		社会：地理を題材に身近なことを調べていく(身近な地域・区内・都道府県) 理科：実験・観察を中心に身近な事象を取り上げて学習する 家庭科：調理・裁縫を中心に生活に必要な知識や技能を身に付ける
体育	一斉	3	健康で丈夫な体を作るために必要な運動を継続して行う。また、発達段階に応じた運動を行う いろいろな運動を通して友達との関わり方やルールを知る ローラーブレード・バランスボールなどの道具を使って、体幹を鍛えたり、ボディイメージを高めたりする
音楽	一斉	2	音楽に合わせて体を動かしたり、歌ったり、ゲームをしたりして、音楽の楽しさを味わう。鍵盤ハーモニカやリコーダー、打楽器などを演奏する
図工	一斉→ クラスごと	2	絵画や工作に取り組み、物を作ったり描いたりする楽しさを味わうとともに、はさみやのりの使い方になれる
外国語活動	一斉、3～6年生 実態に応じて交流クラス	1	外国語に親しみ、ゲームに参加したり、外国語を使って、簡単なコミュニケーションを図ったりする
特別活動	一斉 クラスごと	1	お楽しみ会等の行事に関する準備を行う
総合的な学習の時間	3年生以上	1～2	ひとつの課題を通して様々な力をつける パソコン学習 自ら調べる課題を探し、進んでインターネットを活用する学習 タブレットを持ち帰り自宅でも学習にも取り組めるようにする 環境・キャリア教育に取り組む
特別の教科 道徳	クラスごと	1	ゲームやソーシャルスキルトレーニングなどを通して、人とのよりよい接し方や友達を大切にする心を育む。

V 交流学習について

1. ねらい

- ・通常学級の児童との交流により、ふれあう楽しさや人とのかかわりを学ぶ。
- ・より大きな集団の中で、集団の決まりや行動の仕方を学び、社会性を高める。
- ・通常学級児が特別支援を要する児童とふれあうことにより、正しい理解をもち、よりよい関係作りをする。

2. 交流の機会と方針

①日常からの交流

- ・普段から接する機会を多く設定し、交流学級にとらわれず行う。休み時間などの遊びなど。

②行事における交流

- ・運動会、校外学習、社会科見学、プラネタリウムなど。
- ・朝会、児童集会は通常学級に入って並ぶ。(順は児童の実態による)

③フレンドリータイム

④授業などでの交流

- ・個別の課題や実態から必要に応じて、授業(算数・理科・社会・生活・体育・外国語・図書)などの場を選んでおこなう。
- ・音楽や図工など専科授業の交流の機会を設け、協働意識をもつ。

※④は該当学年、学級との交流が基本だが、交流の内容・方法は当てはまらない場合もある。

3. これまでの主な交流と共同学習

全学年：展覧会・音楽会・運動会・校外学習・生活科見学(1～2年生)

- ・社会科見学(3～6年生)・児童集会・児童朝会・交流給食・交通安全教室・一年生を迎える会
- ・六年生を送る会・教科学習(児童の実態に応じて)・演劇教室・消防写生会

1年：入学式・学校探検・秋探し

2年：学校探検・トウモロコシの皮むき体験・寺島ナス栽培

3年：消防署見学・お店見学・ヤゴとり・出前授業

4年：出前授業

5年：オーケストラ鑑賞教室・卒業関連行事・米作り体験・出前授業

6年：こころの劇場・オーケストラ鑑賞教室・卒業関連行事・出前授業